

水彩画教室 「高原の木かげ／北軽井沢」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

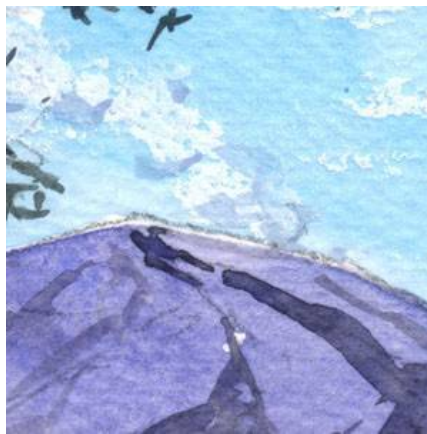
標高1100メートルの高原とはいえ 夏の晴れの日中は 25℃以上になります サイクリングは爽快ですが やはり木かげで休みたくなる  
こともあります この木かげは 正面に浅間山も見えて ちょっと休むのに時にちょうどいいのです



これが完成した絵です



1、秋雲（高積雲）は 画用紙の凹凸を利用して 白のパステルで描きます



2、浅間山の山肌は 青紫を何度か重ねます  
白煙（噴気）はパステルに影をつけます



3、木かげをつくっている樹木の葉は シャドウ・グリーンを軽妙なタッチで描きます



4、遠くの民家（農家）は ほとんど屋根だけで描きます 窓は黒く 点描で



5、「主題」の木かげは 藍色（青+黒）で慎重に横のタッチで重ねてゆきます



6、右側の牧草に落ちる影が一番難しい 特に路肩は かなり暗く描いたほうが良いです